

やわらぎ会通信 5月号

私達の診療所は次のような考え方で皆様の健康に奉仕しています。やわらぎ会歯科診療所にお迎えできることをうれしく思います。

日本歯科医師会では、80歳で20本以上の歯で咬める日本にという主旨で8020運動を行っています。かかりつけ医制度はその目的で制定されました。

まず初診時にお痛みの歯の治療やお困りの事に対する処置を行うと同時に、将来歯を失う原因となる歯ぐきの歯ソーノローの検査と他の虫歯やすきまの出来た冠等の検査を行わせて頂きます。また上下の歯の型どりやお口の中の写真を撮らせて頂きます。基本的に初診時にその検査の結果をかかりつけ医治療計画説明書として情報提供させて頂きますが、その中のすべての治療を受ける必要はなくあくまで必要と思われるものをお受けになれば良いと思います。

私達の診療所ではその判断の助けになる良い方法として、かかりつけ初診時に集めた患者さん自身の資料（全体の歯のレントゲン写真、上下の歯型の模型、歯ぐきの検査、お口の中のすべてを写したデジタル写真）を用いて、もちろん痛い歯の治療が落ち着いた後の事です。私達と一緒に口の中の診断をしてゆき、今のお口の健康をしっかりとしかめる事を考えています。これが経済的で、かつ、良い結果を約束する治療計画をたてる第一歩となります。

最初、お口の病気がどの程度進行しているかをしらべます。歯ブラシを一日に何回も使って磨いてもムシ歯や歯ソーノローを止める事は出来ません。食後歯をみがくと言う事は、良く言われていますが、あまり効果がありません。それよりも一日一回私達が提唱している方法で「歯の手入れ」をしてもらいますと、本当に健康になります。又その健康をいつまでも守る事が出来ます。

この科学的な方法（私達は、これを予防プログラムと称しています。）を行ったならば、一生涯自分の歯を守る事が出来るのです。

歯の健康というのは、それは自分自身で自分の責任で得られるものです。健康を望む人だけが手に入れる事が出来ます。

痛むところ等の緊急の手当てをまず行い、それからまず不潔な状態を作っている冠や充填物や歯や、歯肉の間に食べた物がたまって、清掃の出来ない管理のむづかしいところをとり除きます。

その後お互いに満足の行く完全な修復プログラムを開始します。再び悪くならない様に、一本一本の歯の治療をして行きます。長期計画で歯の健康をとりもどして行くと言う利点のこのプログラムにより、あなたの生活に又予算に最も合った時に最良の治療が出来る様に行えると言う事です。

私達の診療所ではこの予防プログラムや修復プログラムにいくつかのオプションを用意

しています。現在の健康保険制度では歯周病（歯ソノロー）に対して基本管理指導や口腔衛生の実施指導を月1回の割合で行えます。月1回の指導では不十分な場合は、自由診療で5回の連続した予防プログラムを行う事が出来ます。修復プログラムにおいても同様にすべて健康保険の範囲内で行う事も出来ますし、自由診療で制限のない治療も行う事が出来ます。又、両者を併用することも可能です。

今まではあとになってやり変えなければならないような質の低い処置をしなければならぬ事が良くありましたが、やわらぎ会歯科診療所では保険診療と自由診療を山下副所長と藤田所長で分担することで予算を有効に使った良質の治療を行うことが可能です。

先月のやわらぎ会通信でお知らせした通り、旧藤田歯科クリニックに対して調査及び監査が行われました。その結果残念ながら私（藤田）個人の保険医の停止処分が決定しました（5月25日付）。（診療所自体は保険医療機関のままですので、ご安心ください。）

私は保険診療ですべての疾病に対して良質の医療を提供したいと思い、今まで18年間頑張ってきました。この事でご迷惑をおかけすることになったこととお詫び申し上げます。

しかしながらすでに長年の念願であった新しい診療体制に移行して約3ヶ月が過ぎようとしています。今後私は保険にしばられない自由な立場で皆様の健康に御奉仕させて頂くつもりです。若くてやる気十分の山下副所長と共に頑張る所存でございますので、何卒よろしく願い申し上げます。